

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：保育室「ネスト」	種別：認可保育所	
代表者氏名：颯田 和子	定員（利用人数）：50(48) 名	
所在地：〒246-0022 横浜市瀬谷区三ツ境17-1		
TEL：045-363-7896	ホームページ： https://www.sakuranbo.or.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2021年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 さくらんぼ		
職員数	常勤職員：13 名	非常勤職員：27 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：23名	看護師：3名
	調理師：2名	子育て支援員：4名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：沐浴室
	居室：3歳児室	設備：事務所
	居室：4歳児室	設備：医務室
	居室：5歳児室	設備：更衣室
		設備：大会議室
		設備：小会議室
		設備：子ども用トイレ
		設備：多目的トイレ
	設備：エレベーター	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

自分を信じ、愛し、人を信頼する子どもを育てます

<基本方針>

1. 基本的信頼感を育む保育
2. 自己肯定感を育む保育
3. 感性を育む保育
4. 個性を認め合う保育
5. 家庭に寄り添う保育
6. 楽しく食べる安全な保育

④施設・事業所の特徴的な取組

＜保育室「ネスト」の特徴的な取組＞（基本情報Ⅰ-3の記載事項）

1. 年齢ごとの活動に捉われず、こどもたちが生き生きと活動できる環境を整えます。
2. 職員同士、学びの場、話し合う場を作り、より保育の質を高めていきます。
3. 地域の親子が利用しやすい保育園を目指していきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年06月23日（契約日）～ 2024年03月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【保育室「ネスト」の概要】

●保育室「ネスト」（以下、当園という。）は、特定非営利活動法人さくらんぼ（以下、法人という。）が運営する認可保育園です。法人は、横浜市瀬谷区で「参加障害のない街づくり」というミッションを掲げ、子どもや子育て、地域ニーズに関連した14種類の事業を運営・実施しています。当園は、相鉄線三ツ境駅前商店街の一角にあり、駅から徒歩3分で、利便性も高く、親子が安心して通園できる環境です。開設は令和3年4月の新しい保育園であり、1階に低年齢児（0歳～2歳児）の保育室と事務室、2階に高年齢児（3歳～5歳児）の保育室と厨房が設けられた配置となっています。当園では看護師を配置し、障害児、医療的ケアが必要な子どもも入園できる体制作りが特徴の1つであり、一時保育の受入れや子育て相談等を受ける等、地域の子育て支援に尽力しています。

●保育室「ネスト」は、異年齢の子どもの育ち合い等についても大切に考え、年齢にこだわらない保育体制を柔軟に構成する等、保護者を含め、一人ひとりの子どもの育ちや気持ちに寄り添った保育を行っています。例えば、①1歳、2歳児の合同クラスを組む、②3歳～5歳児は異年齢での構成にして活動をする、③保育園を利用していない家庭について一時保育を提供し、リフレッシュ利用も提案、④親子ルーム（半日）を開設し、子育てをしている母親等のコミュニケーションの場の提供、⑤育児相談等の利用等、これらの体制も整えています。また、瀬谷区での、それぞれの家庭環境を把握及び考慮し、子どもや保護者への共感性を持った支援に努めています。特長の1つとして、食事の提供は、安全性の高い食材の選定を行い、園独自の完全調理により給食とおやつを提供しています。保育時間では、20時までの延長保育に正規職員を配置し、一日を通して長時間の保育・子どもの心と体に配慮し、夕食の提供も行っています。当園では、園内研修、職員間で話し合う良好な関係を通じて、保育の質の向上に向けて常に工夫と、積極的な取組を行っています。

◇特長や今後期待される点

1. 【「参加障害」のない街づくりを目指した取組】

法人のミッションは、「参加障害のない街づくり」です。「参加障害」とは、誰かの社会参加を阻んでいる、環境の側にある障害のことです。現状では瀬谷区に限定してのミッションですが、瀬谷区で定着すれば範囲を拡大していく可能性が期待できます。法人はまず、子育て世代の親子の「参加障害」に着目し、保育園、乳幼児一時預かり、放課後の児童、地域子育て拠点、ヘルパー派遣、児童家庭支援センター、共生等の事業に力を入れ展開しています。当園では通常の保育業務の他に、特に子どもに寄り添った保育、障害児保育、一時保育、親子ルーム、長時間保育、夕食の提供等を通じて、他の事業とネットワークを組みながら「参加障害」の撲滅に取組み、尽力しています。

2. 【心と体を育てる給食】

当園は、安全性の高い食材を選定し自園調理での給食とおやつを提供しています。無添加・国産・減農薬にこだわり、子どもに安全で確かな食材を使用した給食を提供し、楽しく食べることを大切にしながら食育に力を入れています。メニューも自然の食材の味、旬の食材にこだわり、加工品はできるだけ使用せず、健全な食生活を実践できるよう、子どもの生きる力につなげています。

3. 【地域に開かれた子育て支援の取組】

一時保育・親子ルーム・子育て相談等、地域の子育て支援に力を入れ、今年度も実施を計画しています。今後も継続して地域の福祉ニーズの把握や、瀬谷区施設長会等を通じた情報交換、また、他園との交流、子育て支援者との横のつながりを大切にしながら、必要な社会資源として地域の子育て支援の取組に力を注いでいます。

4. 【障害児保育に関する取組】

保育室「ネスト」では、特に障害児保育に力を入れています。法人のミッションに関わる取組の中で特に、幼少期における「参加障害」の最たるものを障害児としています。法人は、障害を理由に社会参加が難しい状況に置かれるのは不条理であること、社会のインフラが乏しい中で障害を持った子どもも他の子と同じ機会が与えられるべきと考えています。保育園の取組として、看護師を配置し、医療的ケアのある子どもの受け入れ、また保育士も研修により知識を深め、保育を行っています。関係機関（主に西部地域療育センター）や他機関等と連携しながら、障害児を持つ親のケア等を行っています。福祉では特に、インフォーマルなサポートがやがて公的な制度になることも少なくなく、法人はそれも視野に入れつつ活動の推進を図り、期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 保育室「ネスト」

《第三者評価を受審した感想・自己評価に取組んだ感想》

当園は認可保育園となり、3年目となりました。第三者評価は初めての受審となります。外部からの評価は初めてでしたので、いろいろな観点からのご意見をいただき、保育運営をする上で自己の振り返りができる機会になりました。

保育者が、保育理念「自分を信じ、愛し、人を信じる子どもを育てます。」のもと保育を行っています。乳・幼児時期の大事な時期に大人からたくさんの愛情を受け、思いを受け止めてもらえたことで信頼関係の中、安心して過ごせるようにしていきたいと思えます。

保護者の皆さまにはお忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

満足度の高かったことは職員にとって励みとなりました。引き続き皆さまに安心していただけるように保育を行っています。また、改善が必要なことは、改善に向けて職員一同で取組んでいきたいと思えます。

《評価後取組むこととして》

1. 事業におけるボランティアの組織化や人材確保について、法人と合わせて進めていきます。

2. 実習生の受入れの組み立てを行っていきます。
3. 利用者アンケートの改善点について検討を行い、改善に努めます。
4. 保育実践の振り返り、改善、実施を職員全員で共有を行っていきます。
5. 「参加障害のない街づくり」のため、地域との交流を広げる取組を工夫していきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり